

成果報告書

地域文化倶楽部(仮称)創設支援事業

団体名	ときがわ子ども音楽倶楽部		
所在地	埼玉県ときがわ町	設立年	2021年
運営主体	一般社団法人さいたまスーパーシニアバンド		
事業目標	<p>ときがわ子ども音楽倶楽部の活動を通じ、子どもたちが本格的な音楽活動を楽しめる環境づくり、運営と楽器演奏をサポートするシニアと子どもたちの世代間交流、文化活動の発展による過疎化が進む地域の活性化を目指します。</p> <p>【令和4年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ときがわ子ども音楽倶楽部事業計画の着実な実施(2年目) ・地域に根付く活動としての環境づくり、活動継続を目指すための課題を検討する。 		
きっかけ	<p>首都圏における過疎化が進む地域の子どもたちは、首都圏にあるが故に都市部の子どもたちと同様に見られがちです。しかし実際は、地方の過疎地域の子どもたちと同じく豊かな文化活動を体験する機会は少ないのが現状です。</p> <p>一方、都市化現象もあり、地域社会とのつながりは都市部と同様に希薄になりつつあります。そこで、過疎化が進む地域「埼玉県ときがわ町」を拠点に、多彩なキャリアを備えるシニアで構成されている吹奏楽団、一般社団法人さいたまスーパーシニアバンドやときがわ町役場、ときがわ町教育委員会などの協力のもと「ときがわ子ども音楽倶楽部」を設立しました。</p>		
団体・組織等の連携	<p style="text-align: center;">ときがわ子ども音楽倶楽部運営連携図</p>		
活動場所	<p>埼玉県ときがわ町の公共施設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生き生き活動センター ・玉川公民館 ・都幾川公民館 ・アスピアたまがわ 		
活動概要	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度からの活動継続のため、4月1回、5月2回、6月1回それぞれ練習を行った。 ・ときがわ町ならびに教育委員会、周辺自治体の協力のもと中学校・小学校を対象に、令和4年度の部員募集チラシを配布するなど告知を行った。 ・6月25日(土)オリエンテーション、楽器選択などを行ない、7月～1月まで毎月2回全体練習を行った。またプロ演奏家によるパート練習を各3回開催し演奏技術の向上に努めた。 ・部員のモチベーション維持のため、昨年度作成したe-ラーニング教材を活用した。 ・成果発表会はリハーサルを2月4日(土)に行い本番を2月12日(日)に実施した。成果発表会では、さいたまスーパーシニアバンド・ときがわ町民バンドの演奏と、プロ講師陣の演奏を同時に実施した。演奏会動画は後日関係者に配信する。 		

○本事業による成果

- ・過疎化が進む地域のため、民間や公共のクラブ活動が少なく、中学の部活の選択肢も少ないときがわ町にて、子どもたちのための音楽倶楽部を設立することにより、子どもたちが地元にて音楽活動ができる道筋ができた。今年度はときがわ町の他、近隣自治体(小川町、滑川町、東松山市、嵐山町)の子ども達も多く参加した。
- ・ウイズコロナ下で感染に留意して事業推進を推進し、計画した日程どおり練習でき、海兵隊、USA、ときがわマーチの3曲を合奏できた。
- ・成果発表会は一年越しに計画通り実施でき、大勢のご家族ならびに友達に練習成果を披露できた。
- ・アンケートのまとめは「別添」するが、2年目となり楽器の練習を通じたシニアと子どもの交流はさらに進み、子どもたちの家庭では音楽倶楽部の会話が多くあったというアンケート結果であった。
- ・多くの子供たちが活動の継続を望んでおり、ウイズコロナ下であるが地域に活動が根付いてきている。
- ・本事業の成果を、ときがわ町・同教育委員会に報告し意見交換することにより、今後、学校の部活動との関係性につき話し合う契機としたい。

○児童・生徒への指導に関する工夫

- ・楽器未経験の児童・生徒も多く、楽器の取り扱いから丁寧にサポートすることを心掛けた。
- ・練習時は、毎回さいたまスーパーシニアバンド、ときがわ町民バンドのメンバーがサポートした。
- ・生徒が自宅で練習できる様、昨年度作成した楽器パート別の演奏動画(YOUTUBE)を共有した。
- ・プロ演奏家の楽器パート別指導は年間3回実施し生徒のモチベーションアップを図った。

○運営上の工夫

- ・学校行事を配慮した練習日程の調整と練習施設の確保
- ・新型コロナウイルス感染状況に応じ、公共施設の使用等につき、ときがわ町と情報共有し対応した。
- ・保護者との諸連絡は基本E-メールを使用し、タイムリーな情報共有に努めた。
- ・練習にあたっては感染防止策を徹底し、クラスターを起こさないよう対策した。
- ・本年度の振り返りと今後の運営に反映させるため、生徒および保護者、サポートしたシニアバンドメンバーおよびプロ指導者にそれぞれアンケートをとった。

○継続的な運営に関する課題・展望

- ・児童・生徒が増加した場合への対応として、レンタル楽器の種類と数量を確保することが必要となる。
- ・ときがわ町、教育委員会との連携は、令和4年度の実績を共有し協議を継続する。
- ・学校のクラブ活動と両立出来るよう、部員の募集、子ども倶楽部の運営を工夫する。

○令和5年度からの学校部活動の段階的な地域移行に関する方針・提案

学校部活動の地域移行に関しては引き続き以下の方針で取り組む。

- ・ときがわ町教育委員会との連携により中学校部活動が抱える課題を共有する。
- ・「ときがわ子ども音楽倶楽部」を学校部活動の地域移行の受け皿として継続する。
- ・活動成果の発表、周辺地域団体との交流の場を設定し、活動のモチベーション維持を図る。
- ・プロの高質な演奏を聞く機会を設定する。

○令和4年度 取組状況等

参加者	人数等	参加者の学年・人数:32名(高校生1名、中学生11名、小学生19名、年長1名)
	学校名	明覚小学校・宮前小学校・まつやま保育園・福田小学校・光山小学校・萩ヶ丘小学校・西中学校・滑川中学校・都幾川中学校・月の輪小学校・玉の岡中学校・玉川中学校・玉川小学校・小川小学校
	募集方法	チラシ配布(ときがわ町ならびに近隣自治体の中学校、小学校)、町広報誌掲載
指導者	人数等	ときがわ町在住プロ演奏家: 2名 その他楽器パートのプロ演奏家: 5名 さいたまスーパーシニアバンド、ときがわ町民バンド: 延べ300名余がサポート参加した。
	募集方法	運営主体が直接募集
参加者の移動手段		保護者による送迎
活動費用	指導者謝金等	プロ1日当たり 全体練習30000円、パート練習20000円プロ以外は謝金なし
	その他	会場費
活動財源	会費	参加料:2,000円/月
	その他	不足額は自己負担
スケジュール	基本活動	【全体練習】 令和4年4月30日、5月7日、21日、6月11日、25日、7月2日、16日、8月6日、20日、9月3日、17日、10月1日、15日、11月5日、19日、12月3日、17日 令和5年 1月7日、28日、2月4日
	年間	【プロ演奏家パート練習】 10月15日、11月5日、19日、12月3日、17日、1月7日、28日 【成果発表会】 2月12日(協演:さいたまスーパーシニア、町民バンド、プロ演奏家) ゲスト:ミュージックガーデン植松
保険加入等		行事参加者の傷害危険担保契約 延べ被保険者数 400名

【活動の様子（写真添付）】

木管楽器パート練習



金管楽器パート練習



パーカッション&ベースパート練習



【成果発表会】令和5年2月12日アスパアたまがわ大ホール

